

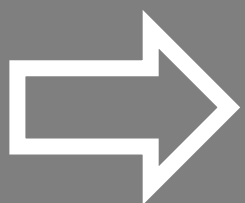
【問題】

今日の給食のメニューの中に、
食べるだけで世界を変える食材
があります。

次のうち、どれでしょう？



- ① 竹輪
- ② ほうれん草
- ③ ごま



正解は中
をみてね

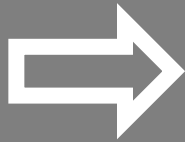


逗子市の広報
キャラクターシズオ



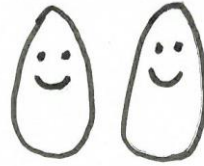
ヒントはこのメニュー
のどれかだよ

【正解は…】



「③ごま」でした!

ニカラグア産のごま



なぜ「ごま」でフェアトレードなの?

ごまは暑く乾燥した地域でよく育ち、中南米やアフリカなどで栽培されています。

給食に使われているごまは、ニカラグア共和国のフェアトレード認証を取得した白ごまを日本のメーカーが購入し、いりごまにしたものです。



ニカラグア共和国はどんなところ?

中米に位置しているニカラグア共和国は豊かな自然に恵まれ「湖と火山の国」と呼ばれています。

しかし、1989年まで内戦が続き、現在も中南米における発展途上国の一つです。



フェアトレードって?

フェアトレードとは「公平・公正な貿易」のことです。

開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」をいいます。

認証マークについて

ラベルがついた商品は国際認証を受けているので、フェアトレードの商品を探す目印になります。

ラベルがなくてもフェアトレードの商品は多くあります。



児童労働と私たち

世界には、遊んだり、勉強したいと思いつながらもそれが叶わず、おとなと同じように働いている子どももいます。現在、1億5200万人、子どもの10人に1人が危険で有害な労働を強いられています。

学校に行くのが当たり前の子どもたちと、働くのがあたりまえの子どもたち。同じ地球上に、こんな格差が生まれてしまっています。



アフリカのカカオ農園で働く15歳の少年

ガーナで暮らすゴッドフレッドくん(15歳)は、7歳でお父さんを亡くし、家族を支えるため9歳からカカオ農園で働きはじめました。

朝5時、誰よりも早く農園に行き、カカオを収穫し、集めて運びます。



「カカオは頭に乘せて運びますが、とても重く、頭から脚まで全身が痛くなります。病気になっても、疲れたとか休みたいと思つても、それを口に出すことさえできませんでした。ほかの子どもたちが学校へ通っているのに、自分は働かなければならないことを、とても悲しく思っていました。」

ゴッドフレッドくんの村では、日本のNGO(ACE)の活動によって、親や住民が児童労働の悪影響や教育の重要性について知るようになり、ゴッドフレッドくんも毎日学校に通えるようになりました。

もう村には児童労働している子どもたちはいません。



私たちの生活とつながっている児童労働

児童労働は、遠くの貧しい国の問題と思われるかもしれませんが、日本に暮らす私たちと決して無関係ではありません。



子どもの労働で作られているカカオやコットンは、チョコレートや衣服に生まれ変わり、わたしたちの生活の一部になっています。



消費者の「安くモノを買いたい」という要望や、「安くモノを作って販売し、利益を上げたい」という企業の思惑が、生産者へのしわよせとなって、児童労働を生んでいるともいえます。



私たちが、生産者の人権を守るフェアトレードの商品を選ぶことは、児童労働がない世界を作るための一歩となります。

出典：世界の子どもを児童労働から守るNGO ACE acejapan.org/childlabour より

イラスト：フェアトレードタウン逗子リーフレットより

私たちにできること

フェアトレード商品を
買ったたり、食べたたりしよう！

フェアトレードについて
調べてみよう！

家族や友達など周りの
人に広めよう！



5月は世界フェアトレード月間なんだ。
市内でもランチキャンペーンや展示などのイベント
が行われているよ♪

発行：逗子市・逗子フェアトレードタウンの会

[問合せ先] 市民協働課 Tel 046-873-1111(内266) Fax 046-873-4520 E-mail siminkyoudou@city.zushi.lg.jp